

うるま市の蝶
シリーズ⑨

オオゴマダラ



黄金色に輝くオオゴマダラのサナギ

黄金色したサナギの秘密

ペンダントにしたいくらいきれいな黄金色をしたオオゴマダラのサナギは、なぜあんなに目立つ色をしているのでしょうか。自然界では擬態などをして目立たないようにするのが安全なはずなのですが？

オオゴマダラに限らずマダラ蝶科のサナギは、結構目立つ色の物が多いようです。たとえば、ツمامラサキマダラのサナギは銀色をしています。畑などで鳥を齧かすためにキラキラした物をつるしたりしますが、光り輝くことで身を守っているのかも知れませんね。

(文・写真)
うるま市ちようちよう愛好会
ちねん ひでき
知念 秀樹



神秘的に輝く銀色したツمامラサキマダラのサナギ

羽ばたけ!! スポーツ少年団



野球

天願フェニックス

昭和45年に結成された天願フェニックスは、現在7代目の宮城常秀監督の指導の下、部員42名が「明るく、元気よく、礼儀正しく」を合言葉に日々の練習に励んでいます。おとなしいチームで、練習や試合ではいつも監督やコーチの檄が飛んでいます。

去年3年ぶりに九州大会に出場したほか、今年の1月に87チームが参加して行われた中部地区新人大会で、同じうるま市内の田場スワローズを2対1で下し、見事優勝の栄冠を手に入れました。チームは今、波に乗っています。昭和49年の夏以降、県大会での優勝がないので今年こそ優勝を狙っています。野球を通して友達の大切さや礼儀を学び、明るく元気よく小学校生活を有意義に過ごし、中学校へ巣立っていったほしいと監督や父母は大きく成長する子どもたちを温かく見守っています。

川崎クラブ

バレーボール



川崎クラブは今年で13年目を迎え、現在28名の部員が上江洲健一監督、優希恵コーチ夫妻の指導の下、川崎小学校体育館を拠点に主にバレーボールを中心に活動しています。「チームワークを大切に」「最後まであきらめない」ことがチームのモットーです。

チームは川崎小学校の子ども達を中心に、具志川小学校や南原小学校からもクラブ活動へ参加する子ども達もいて、とても個性的でやる気のある子が集まったチームです。

これまでうるま市大会優勝をはじめ、県大会ベスト8、中頭地区大会ベスト4などの成績を残しています。今年は「大きな声の出る、明るく、楽しく、強いチーム」を目指し、県大会で優勝、全国大会へ出場することが目標です。コートの中でも、応援の時も大きな声を出し、チームがひとつになつて目標に向かって努力してほしいと監督や父母は頑張る子どもたちを応援しています。